

「先住民族とESD」

ESD研究センターでは、世界と日本の先住民族問題に関する指導者ハンドブックとして、『先住民族とESD』を制作しました。国連では2007年に「先住民族の権利に関する国連宣言」が採択され、日本でも2008年に衆参両院で「アイヌ民族を先住民族とすることを求める決議」がなされてから、日本政府もようやくアイヌ民族が抱える課題について取り組みを始めたところです。

今回ご披露する教材「ティフ星人はパセリを食べる」は、先住民族が土地や言葉を奪われ、民族固有の文化を失い差別される過程をシミュレーションしたものです。ワークショップの後に、世界の先住民族と日本のアイヌをめぐる課題について意見交換し、今後の私たちの課題を探ります。

日時：2011年6月19日（日） 14:00～17:00

場所：立教大学池袋キャンパス 12号館 第1・2会議室

プログラム

1. 教材集『先住民族とESD』製作の意図 田中治彦
2. ワークショップ「ティフ星人はパセリを食べる」 小泉雅弘
3. 質疑応答と意見交換

講師：田中治彦（上智大学／ESD研究センター）

小泉雅弘（さっぽろ自由学校「遊」理事）

参加費： 無料（参加の皆様には『先住民族とESD』を一冊差し上げます）

定員： 40名（先着順）

●申込みと問い合わせ：立教大学ESD研究センター

メールかファックスで下記までお申込み下さい。

〒171-8501 豊島区西池袋3-34-1・TEL&FAX：03-3985-2686/esdrc@grp.rikkyo.ne.jp

●交通アクセス：<http://www.rikkyo.ac.jp/access/>（池袋駅西口徒歩10分）

『先住民族とESD』のテキストのみご希望の方は、立教大学ESD研究センターのホームページよりお申込みください。

<http://www.rikkyo.ac.jp/research/laboratory/ESD/products/product2.html>